

# 世界の子どもと向き合う青年海外協力隊

**セ**ントルシアでは、家族制度が日本と大きく異なり、婚姻率が低く、女性が一人で子どもを育てるケースが多くなっています。また、児童虐待や非行、少年犯罪も後を絶たず、少女に対するレイプ事件や家庭内の性的虐待が日常的に起きているのが現状です。ガールズセンターではそのような問題を抱える12～16歳の少女たちを保護して、私はクラフトや数学を教えています。いずれ彼女たちが卒業して自立していくため、直接的に仕事に結び付けよう、今は特に洋裁技術の向上を図るための方法を模索しています。

フランシーナは母親から無視されたり身体的な虐待を受けたりして、小学校も休みがちで中学に進学できませんでした。卒

業後しばらくは家事をしたり、妹の面倒を見たりして生活していたのですが、祖母がセンターに送ることを決めたようです。地元のコミュニティーでは、母親のことで肩身の狭い思いをすることも多いようで、「みんなが私に親切にしてくれるセンターにいる時が一番楽しい」と言っています。彼女たちが将来に明るい光を見いだせるよう、少しでも力になればと思っています。

<b>フランシーナ・アレキサンダー (15歳)</b>
家族構成：継父、母、妹3人、弟
好きなこと：勉強する
つらいこと：地元に戻る
一つ願い事をするなら?：家を建てたい
将来の夢：シェフ

**阿部 由佳**  
セントルシア 青少年活動 福岡県出身  
アプトン・ガーデンズ・ガールズ・センター



**唐澤 直子**  
ニカラグア 青少年活動 神奈川県出身  
NGOシーアラビータカサ・ホセマリア



**元** ストリートチルドレンの更生施設で、子どもたちの健康管理を担当しています。具合が悪くなった子を病院に連れて行ったり、簡単な傷の手当てをしたりといった保健業務が中心ですが、実際の生活はもっと雑多です。学校の宿題、読書、パソコンの練習に付き合うこともよくあります。また、一緒に食事をしたり、掃

<b>クリスチャン・アントニオ・シスネ・ロッハ (15歳)</b>
家族構成：継父、母、兄、弟
好きなこと：新しいことを覚える
つらいこと：自分の悪い所を直す努力をする
一つ願い事をするなら?：高校に進学して英語を勉強したい
将来の夢：弁護士

除はしたのか、洗濯はしたのか、シャワーは浴びたのかと、ときに疎まれながらも、母親のように小言を言っていますが、子どもたちに目いっぱい愛情を注ぎ、そして、彼らからの強烈な愛情を受け取ることが、私の最大の役割だと思っています。

クリスチャンは、掃除など施設の仕事を積極的に手伝ってくれる男の子です。パソコンやバイクの運転など、新しいことを覚えることにとても意欲的なのですが、知らないから、知る機会がないから、できないことがたくさんあると感じることがあります。知ること広がる世界、挑戦するチャンスを得ることで広がる可能性があると感じて、私自身からできるだけ多くの情報を発信していければと思っています。

**ベ**トナムには特別支援学校の数が十分になく、設備もあちこち壊れていて安心して遊べる環境ではありません。また、子どもをたいて指導するのが一般的なようで、先生が怖いから言うことを聞かないというスタイルになってしまっています。そもそも先生の数が足りず、子どもが出ているサインを読み取れる大人が近くにいないため、コミュニケーション能力が育ちにくいように感じます。子どもたちは言いたいことが伝わらず、それが大きなストレスになるようにも見えます。

カーは視覚障がいの子の早期教育のクラスで4人の幼児・児童と学習していますが、目がまったく見えないため、誰かが出したおもちゃを踏んでしまうこともありますし、ほかの

子が先生にしかられている時、その状況が分からずより恐怖感を感じるようです。また、学校に視覚障がいの子どもが活動しやすい環境が整っていないため、食事や着替えなど、まだまだ一人でできないことがたくさんあります。今後は私が以前勤めていた盲学校など日本の例を参考に、就学前の子どもに何をどのように教えるか、その指導方法を同僚の先生に伝えていきたいです。

<b>グエン・ティン・カー (5歳)</b>
家族構成：父、母、姉
好きなこと：友達と学校で勉強する
つらいこと：歩いて移動する(目が見えないため)
一つ願い事をするなら?：おもちゃがたくさん欲しい
将来の夢：学校の先生

**波田野 圭子**  
ベトナム 養護 埼玉県出身  
グエンディエンチエウ特別支援学校



**吉川 祥太**  
ヨルダン 体育 茨城県出身  
ジェラッシュキャンプ小中学校



**僕** が活動しているヨルダンのパレスチナ難民キャンプの小中学校では、1つの校舎を2つの学校が午前と午後に分けて使っています。赴任したばかりの時、ごみやジュースビンの破片が散らばっているグラウンドで、子どもたちが裸足で駆け回っているのを見て驚きました。またこの人々は国連の定める難民の定義に当てはまらないため市民権がなく、他のキャンプから

<b>ムハンマド・アブシー (11歳)</b>
家族構成：父、母、兄2人、姉2人、妹2人
好きなこと：アラビア語と体育の授業
つらいこと：テスト
一つ願い事をするなら?：日本に行きたい
将来の夢：サッカー選手

偏見や差別もあり、閉鎖的な空間です。

ある日の帰り道、野菜とパンを手一杯に持ったムハンマドと偶然会いました。彼はその日学校に来ていなかったで理由を聞くと、「家の手伝いをしていたんだ。今日は体育だったよね、ごめん」と言い、言葉に詰まっていた僕にパンをつくれました。「これは家族の分だろ」と最初は断りましたが、「シヨータは家族だ!」って言うてくれたんです。家族や仲間を大切に思う思いは彼らから学んだ大きな財産です。

難民キャンプで生きる彼らにとって、自由に運動できる場所、時間は本当に限られています。それでも僕は彼らの夢を守るために、その状況を少しでも改善していきたいのです。

**ミ**クロネシア連邦では、学校に行く、遊ぶ、けがをしたら治療を受けるといった、日本でいう“当たり前”に近い生活を送ることはできます。飢餓で命を失う子どももストリートチルドレンもいませんが、「教育」の重要性が認識されておらず、教員の人材・指導力不足が深刻な問題です。学期の途中で担任が変わったりして効果的な指導が行えず、子どもたちは積み重ねの学習ができないまま高学年になってしまいます。算数を担当している私は、ただ解き方を覚えるのではなく、考えることが楽しい!と思ってもらえるよう授業を工夫しています。

ジャスマンは笑顔の素敵な女の子です。登校途中にきれいな花が咲いていると、それを摘んで私にプレゼントしてくれます。幸


せのおすそ分けです。あの子、かけ算ができるようになったよ!と、まるで自分のことのように喜んで報告しに来てくれた時もあります。ミクロネシアの子どもたちと接していると、笑顔がどれだけ周りの人を幸せにするのかを実感します。モノやおカネは関係ない、毎日を“素敵”にする方法を、私は彼女たちから学んでいます。

<b>ジャスマン・ケラーニ・レイチェル・イスマエル・ルーイ (8歳)</b>
家族構成：父、母、弟3人
好きなこと：友達と遊ぶ
つらいこと：家の庭掃除
一つ願い事をするなら?：ハンナ・モンタナ(大好きな映画の主人公)に会いたい
将来の夢：フライトアテンダント

**田口 佳奈**  
ミクロネシア連邦 小学校教諭 兵庫県出身  
マレム小学校



**内藤 久美子**  
ルワンダ ソーシャルワーカー 静岡県出身  
フィデスコルワンダ



**路** 上生活で生き抜いてきた子どもたちは、人を信頼したり、特定の人に愛情を示すことを恐れているのではないかと感じることがあります。悲しいですが、うそや盗みは日常茶飯事、洋服や石けんなど盗んだものを売ったお金で、タバコやマリファナなどの薬物を買う子もいます。私が活動している施設では、問題を体罰で

<b>エマニュエル・ンシマナ (11歳)</b>
家族構成：母、姉、兄
好きなこと：算数の勉強
つらいこと：サッカーの試合でメンバー交替させられるとき
一つ願い事をするなら?：サッカーのスパイクと靴下がほしい
将来の夢：銀行員

片付けようとする習慣がまだ残っているのも事実です。

エマニュエルも学力不足や貧困からくる複雑な家庭環境などの問題に直面していますが、立ち止まって悩むのではなく、前向きに生きています。自分のものを一人占めないで他人に分けてあげられる優しさ、物質的には恵まれていないけれど、廃物を利用していろんなものを作って遊べる創造力は素晴らしいです。今私にできるのは、子どもたちに“楽しみ”を提供していくこと。彼らの支えとなって、己を否定しない生き方をしていってほしいかかわっていきたい。職場の先生たちには、「体罰がなくても子どもは変わる」ということに気付いてもらいたいと思っています。